

日刊建設工業新聞

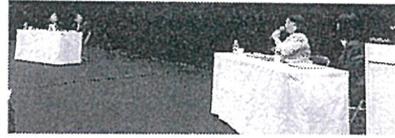
2017年(平成29年)

12月5日火曜日

第19319号

確・日本能
が表れているとした。

17日に行わ
建設現場の
ていく「快
女について
ネコンやハ
現場環境の
女性社員ら
紹介し、快
なる普及に
要性を訴え



学會女性ネ
め男女兼用の快適トイレの
設置を進めていると説明
し、「建設業のイメージア
ップにもつながる」と期待
を述べた。

熊本好美全国低層住宅劣
務安全協議会じゅうたく小
町部会環境班リーダーは、
レンタルが主流の仮設トイ
レが洋式に置き換わること
で、災害時や大規模イベン
ト時に使いやすいトイレを
提供できるよつになるな
ど、建設現場での快適トイ
レの普及が社会全体に好影
響を与えたとした。

云の熊野康子
いで、4人の
報告した。黒
菅企画本部
推進室担当
社員が行う
ナック「ダイ
ドロール」を
延は男性から
を要望する声
になった」と
現改善に効果

秋山寿美江積水ハウス神

奈川中央支店建築課主任
は、女性技術者・技能者が
不安を感じながら仮設トイ
レを使っている現状を指摘
し、女性に配慮したトイ
レは働き方を大きく改善でき
ると主張。工藤真澄大和ハ
ウス工業横浜支社集合住宅
事業部工事部工事第二課主
任は、敷地に余裕がないた

50人がSP型永久 アンカー技術学ぶ

VSL協会が講習会

VSL協会(田中茂義会
長)は11月20日、東京都文
京区の地盤工学会で「VS



SP型永久アンカーの
技術を学んだ。

冒頭あいさつした中原二
郎理事は、日本に導入され
てから50年の歴史があるV
SL工法の施工事例を紹介
しながら「きょうの講習会
でグラウンドアンカー工法
の一般的な定義や、VSL
永久アンカーと従来型との
違いについてさらに理解を
深めてほしい」と述べた。

引き続き同協会の別府正
顕アンカー部会技術委員が
VSL永久アンカー工法の
技術説明を行ったほか、京
大大学院の杉山友康教授が
「最近の豪雨による斜面災
害の特徴とこれからの斜面
防災対策」と題して特別講
演した。